

# 令和8年度「おおぶ活き活き幸齢者応援八策」新規・拡充事業

本市は、「健康都市おおぶ」として、幸せに齢を重ねることができ、幸齢社会の実現に向けた様々な取組を推進してきました。従来、我が国では、65歳以上が高齢者とされてきましたが、「人生100年時代」を迎えている現代では、年齢で一律に捉えることは、現実的ではなくなっています。日本老年学会・日本老年医学会からは、平均余命が延伸していることや高齢者の若返りが見られることなどから、高齢者の定義を見直す提案がされています。また、国の「高齢社会対策大綱」においても、「新たな高齢期像を志向すべき時代が到来しつつある。」としています。本市は、「人生100年時代」にふさわしい「幸齢者」像の確立を目指し、誰もが活き活きと活躍し、心豊かに安心して暮らしている地域共生社会を実現するため、「おおぶ活き活き幸齢者応援八策」を推進します。

幸齢期を通じた市独自の3つの梁の施策

活躍

安心

## 1 新たな時代の幸齢者像の確立

- ① ライフスタイルを自由に選択し、より積極的な生き方を探求する「人生100年時代」にふさわしい「幸齢者」像を確立します。(法令等に定めのある場合を除き、「老人」「前期・後期高齢者」を使用しません。)
- ② 多様な就労・活躍の場の創出と健康増進・多世代交流により、『貢献寿命』と『健康寿命』を延伸します。

新規・拡充事業  
(332千円)

- ◎ 高齢者福祉計画(第10期)の策定
- ◎ いきいき幸齢者フェスタの開催(昭和100周年事業として拡充実施)

主な既存事業

- 大府市社会福祉協議会との連携推進



## 2 認知症不安ゼロのまちづくり

全国に認知症施策が広がるきっかけとなった「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」に基づき、認知症を予防し、認知症になっても安心して暮らされ続けるまちづくりを推進します。

新規・拡充事業  
(159千円)

- ◎ 認知症施策推進計画(第3期)の策定

主な既存事業

- 大府市の忘れ健診(認知症診断助成制度)
- チームオレンジおおぶの活動推進(社会参加促進)
- 認知症不安ゼロ作戦(プラチナ長寿健診、コグニート等)
- 認知症高齢者見守りネットワーク(個人賠償責任保険)
- 認知症サポーターの養成 ● 認知症カフェ・交流会の支援



## 3 まるごと相談支援

年齢や状況に関係なく、個々のニーズに応じて、関係機関と連携した相談支援を行うとともに、市独自の成年後見制度の利用促進、終活支援などを通じて、様々な相談に対応する「まるごと相談支援」を行います。

新規・拡充事業  
(4,888千円)

- ◎ AIによる相談業務の効率化
- ◎ さくらノートリニューアル
- ◎ 市民後見人の育成・活用
- ◎ 成年後見制度利用促進基本計画(第2期)の策定
- ◎ 生活保護事務を統合し「福祉まるごと相談課」に変更

主な既存事業

- さくらMIRAIサポート(終活支援:さくらノート、わたしのさくら登録、さくらplus)
- 市単独の成年後見センターの運営・成年後見制度の利用促進(棚田氏によるマンガ制作・市民後見人の養成等)
- おくやみ窓口の開設 ● 高齢者虐待に関する相談支援



## 4 『貢献寿命』を延伸 活躍の場の創出・拡大



知識・経験を活かして、活躍できる場を創出・拡大し、社会や地域に貢献する『貢献寿命』を延伸します。

新規・拡充事業(29,284千円)

- ◎ 市民活動ボランティアセンターの運営
- ◎ 生涯学習活動の推進(公民館講座として、パイオリンやオカリナ等の音楽に関する講座のほか、市内で活躍する市民活動団体と連携した講座を開催)
- ◎ 地域の集会施設への改修補助

主な既存事業

- 有償・無償ボランティアへの参加支援
- 学校部活動指導者等と希望者のマッチング、指導者講習会の開催
- 文化芸術・生涯スポーツ活動への支援
- 公民館生涯学習講座・公民館まつり・コミュニティ芸術祭の開催

## 5 『健康寿命』を延伸 健康づくりと交流促進



健康都市おおぶ独自の健康づくりを推進するとともに、世代を超えた交流を促進し、『健康寿命』を延伸します。

新規・拡充事業(546,966千円)

- ◎ 健康増進・交流拠点と第二教育支援センターの整備
- ◎ 新たなヘルスケアアプリの導入
- ◎ 長寿ドック補助の拡充
- ◎ 常設サロンの補助制度の拡充
- ◎ とうちゃんソフトボール周年記念事業の実施(50周年記念大会の開催、記念誌の制作)
- ◎ アーバンスポーツの推進(スケートパークを活用した初心者向け教室の開催等)
- ◎ 幸齢者囲碁大会の開催

主な既存事業

- 温水プール・温泉等利用料金の助成
- 全世代型サロン等の活性化支援
- バイオリン講座、eスポーツなどへの参加支援

## 6 暮らしを支える移動支援



通院・買物を始め暮らしを支える公共交通の充実と福祉との連携などによる移動支援の充実を図ります。

新規・拡充事業(5,971千円)

- ◎ タクシー料金助成制度の対象年齢の拡大
- ◎ 社会福祉法人と連携した移動支援の拡充(新たに長草地区でモデル実施)

主な既存事業

- 市循環バス路線の拡充
- 市循環バス「ふれあいバス70」の発行(プッシュ型)
- 免許返納者のタクシー利用支援(国モデル事業)
- 自動車安全運転技能検査・運転寿命の延伸
- 自転車ヘルメットの購入補助
- オンライン行政手続きの拡充とデジタルバйдの解消

## 7 日常生活のサポート



多様な主体と連携し、日常生活で必要となるサポートを提供します。

新規・拡充事業(20,883千円)

- ◎ 特定疾病り患者扶助料の対象拡大
- ◎ 耐震改修費の補助上限増額

主な既存事業

- 配食サービス(安否確認含む。)の提供、緊急通報装置(24時間体制)の設置
- 民生児童委員との連携(活動支援)
- スギ薬局等の民間事業者と連携した買物支援
- 地域見守り活動に関する包括協定の締結
- 特殊詐欺防止用電話機器等購入費の補助
- 三世帯住宅の工事費の補助
- 避難行動要支援者名簿・個別避難計画の作成

## 8 医療・介護へのアクセス



住み慣れた身近な場所で安心して医療と介護が受けられる体制を整備します。

新規・拡充事業(72,130千円)

- ◎ 救急業務のDX化の推進
- ◎ 小規模多機能型居宅介護施設への整備補助

主な既存事業

- 三師会・国立長寿医療研究センター・藤田医科大学病院等との連携
- 在宅医療の推進
- 高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)の運営
- 介護保険の運営・知多北部広域連合との連携
- 地域の暮らしを支える専門職間の情報共有支援(おぶちゃん連絡帳の利用推進)
- 高齢者施設の整備支援

心身の状態や環境等に応じた5つの柱の施策